FCL Components SERVIS KVM solution 17 インチ 1U ベーシックドロワー FD-1700AT/J

オペレーティングマニュアル

06版

はじめに

このたびは、17 インチ ベーシックドロワー (以降、本製品と呼びます)をお買い上げいただ きまして誠にありがとうございます。

本製品をご使用の前に「安全に関するご注意」をご参照ください。「安全に関するご注意」に は、お使いになる人や周囲の方の身体および財産への損害を未然に防止するための内容を記 載しています。

本書について

本書は、本製品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい重要な情報が記載 されています。本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをさ れますようお願いいたします。ご使用にあたっては、本書の内容をご理解の上ご使用願いま す。

弊社は、使用者および周囲の方々の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただ くために、細心の注意を払っております。本製品をご使用になる際は、本書の説明に従って ください。本書は本製品とともに大切に保管してください。本製品を第三者に譲渡する場合 は、本書も譲渡してください。

本製品および本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。本製 品および本書の内容について、不明な点やお気づきの点がございましたら、お客様サービス &サポートセンターまでご連絡願います。

商標について

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® および ™ マークは省略しています。 本書は、FCL コンポーネント株式会社の著作物です。 本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

Copyright 2024 FCL COMPONENTS LIMITED

本製品の取り扱いについて

提供される装置本体およびオペレーティングマニュアル(本書)は、お客様の責任でご使用く ださい。本製品の使用によって発生する損失やデータの損失については、 FCL コンポーネント株式会社では一切責任を負いかねます。また、本製品の障害の保証範囲 はどのような場合でも、本製品の代金としてお支払いいただいた金額を超えることはありま せん。あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・ 製造されているものであり、(1)原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交 通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにお けるミサイル発射制御などの、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない 場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途、ならびに(2)海底中継器、宇宙衛星な ど、極めて高度な信頼性が要求される用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用される よう設計・製造されたものではございません。 お客様は当該ハイセイフティ用途に要する安全性ならびに信頼性を確保する措置を施すことなく、 本製品を使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことに

より発生する、お客様または第三者からの如何なる請求または損害賠償に対しても、 FCLコンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

本製品の廃棄時の取り扱いについて

本製品は金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

安全に関するご注意

ご使用になる前に、この「安全に関するご注意」のページをよくお読みの上、正しくご使用 下さい。ここには、お使いになる人や他の人への身体および財産への損害を未然に防止する ための注意事項を記載しています。

警告レベルを表すシンボルマーク

危険	□ この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を● 負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
藝告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
注意	□ この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危険や危害の内容を表すシンボルマーク

記号	危害・損害レベル	内容説明
\bigcirc	禁止	してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。 記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	厳守	必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中や その脇には、具体的な警告内容が示されています。
\triangle	注意・警告	警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中や その脇には、具体的な警告内容が示されています。

使用中の取り扱いについて

	⚠警告
感電、火災	開口部から本製品内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・ 故障の原因となります。
жыл	本製品に水をかけたり、濡らしたりしないでください。感電・火災の原因となります。

水場での使用	風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。		
悪環境での使用	本製品の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または、小 さな金属物を置かないでください。装置内に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。		
電源プラグ抜去	 万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本製品の 電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原 因となります。 		
電源プラグ抜去	 源プラグ抜去 万一、装置内部に水などの異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラ グをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障 の原因となります。 		
電源プラグ抜去	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感 電・故障の原因となります。		
航空機内での使用	航空機内では本製品を使用しないでください。航空機の計器誤動作の原因となります。		
使用中の取り扱いについて			
	⚠注意		
火災	使用中の本体や AC アダプターなどは、布などでおおったり、包んだりしないでください。熱が こもり、火災の原因になることがあります。		
برین ک	本製品の開口部(通風孔など)をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、 火災の原因となることがあります。		
衝撃、振動	本製品に過度の衝撃や振動を与えないでください。感電・火災または、故障の原因になることが あります。		
国内仕様	本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかね ます。また、弊社は本製品に関し日本国外への技術サポート、およびアフターサービス等を行っ ておりませんので、あらかじめご了承願います。		
設置・据	付について		
	⚠警告		
感電 <u> 承</u>	アクセサリーの取り付けおよび取り外しを行う場合は、必ず装置本体の電源を切り、電源ケーブ ルをコンセントから抜いた状態で行ってください。感電の原因となります。		
感電、火災	本製品を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを 確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。		
	⚠注意		
悪環境への設置			
不安定な場所	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。		

振動、衝撃	振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となること があります。	
専用箱での運搬	 専用箱での運搬 本製品を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。 ただし、変形および破損等がある箱は、使用しないでください。本製品が故障する原因となることがあります。運搬処理が完了するまで本製品は開梱しないでください。 	
結露	本製品を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。すぐに使用すると、本製品が故障する原因となることがあります。	
ケーブル接続	本製品にケーブルを接続する場合は、接続部にストレスがかからないようにしてください。また 接続部に振動をあたえないでください。本製品及び、接続先の製品が故障する原因となります。	
AC アダ	プター・電源・電源ケーブルについて	
	⚠警告	
an≠	ぬれた手で電源ケーブルやコネクターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。	
kä	電源プラグとコンセントの接続部には、ホコリやゴミをためないでください。その状態で長い間 使用して湿気をおびると、接続部が熱をもって発火にいたるトラッキングを起こし、火災の原因 となります。	
火災 <u> 火災</u>	電源ケーブルを巻いたり、束ねたりしないでください。その状態で使用すると電源ケーブルが熱 をもって発火し、火災の原因となります。	
感電・火災	電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして、電源ケーブルを傷めないでください。感 電・火災の原因となります。	
感電・火災	電源ケーブルのコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しないでください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。	
アース接続	電源を接続する前に必ずアース接続をしてください。アース接続しないで使用すると、万一漏電 した場合に、感電・火災の原因となります。	
アース接続	湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。 アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。	
感電・火災	指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。 感電・火災の原因となります。	
感電・火災	添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。感電・火災の原因となります。	
AC アダプター・電源・電源ケーブルについて		
▲		
۶. بری ک	電源プラグを電流容量 15A 以上の専用コンセントに直接接続してください。延長コードは過熱・ 発火の危険があるので使わないでください。	
kit		

 分解・改造 本製品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品を オーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産に 予期しない損害が生じるおそれがあります。 		
	⚠注意	
 感電・火災 電源ケーブルのプラグをコンセントから抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、必ず電源 ケーブルのプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出 したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。 		
火災 <u>入</u>	電源ケーブルのコンセント差し込みプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。 プラグとコンセントの接触不良により、火災・故障の原因となることがあります。	
У.555 Д	長時間装置を使用しないときには、安全のため必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。火災・故障の原因となることがあります。	
感電 · 火災	電源ケーブルを熱器具に近付けないでください。ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因と なることがあります。	
保守につ	いて	
お客様自身の修理	本製品の修理はお客者自身で行わないでください。火災・感電の原因となります。弊社にご連絡 のうえ、弊社の担当保守員によるメンテナンスを受けてください。	
分解・改造	 分解・改造 本製品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品を オーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産に 予期しない損害が生じるおそれがあります。 	
	⚠注意	
装置内の取り扱い	静電気に対し誤動作や故障を起こす場合があります。保守担当者以外は内部に触れないでください。	
廃棄 Q	本製品は金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示に従って ください。	
その他の	注意事項について	
	⚠注意	
環境条件	本製品の環境条件について、よくお読みのうえ正しくご使用ください。	
電源接続	本製品の電源ケーブルは特別に認可されたものです。サーバーラックの電源コンセント以外には 接続しないでください。感電、短絡の原因になります。	
電源周辺	本製品のインレットまたはサーバーラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き挿しがすぐ にできるようにしてください。	
ケーブル配置 損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり取り外し たりするときは、設置方法の該当部分を参照してください。		

雷雨時 日	雷雨のときは、データケーブルを接続したり取り外したりしないでください。
	本製品を引き出した状態では、装置の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作 してください。
本製品の格納	本製品を使用しない場合や本製品以外のサーバーや周辺機器などを操作する場合には、本製品を サーバーラック内に格納することを推奨します。
長時間操作 し	体調の悪い状態でのキー打鍵や長時間の連続キー打鍵は避けてください。
ケーブルの抜去	ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクターを持って抜いてください。
モニター解像度	「モニター解像度」で指定されている解像度とリフレッシュレートしか設定できません。ご不明 な点は、販売窓口までご連絡ください。
絶縁処理	周辺機器用のデータケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となります。
線路電圧の切断	線路電圧を切断するときには、専用サーバーラックの電源コンセントから電源プラグを抜きます。
引き出し時 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	本製品を引き出した状態で脚立代わりに使用したり、寄りかかったりしないでください。サーバー ラックが転倒する危険があります。
部品交換	本製品には有寿命部品(LCD など)が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
耐用年数	本製品を安定した状態でご使用になれる期間(耐用年数)は5年が目安です。1日8時間 で月当たり 200 時間動作、使用環境が 25℃を想定した場合の目安です。ただし、有寿命部品を 除きます。
モニター画面	モニター画面を強く押したり、硬いものでこすったり、磁石などを近づけないでください。破損 の原因になります。

本書の表記について

本書の表記ルールについて以下に示します。

表記	表記の説明
「」 参照する章のタイトルや用語の協調をしています。	
	キーボード上のキーを示します。
	例: <esc> は ESC キーを、 <enter> は ENTER キーを示します。</enter></esc>
*	文中の注釈を示します。
()で囲まれた数字	順序に従って行う必要がある操作を示します。
山参照	参照する Chapter,項目,ページ数を表します。
》重要	本製品をご使用になる上で気を付けていただきたい点を示しています。

目次

Chapter 1 - ご利用になる前に1			
1.1. 製品概要 2 1.2. 添付品の確認 3 1.3. 各部の名称と働き 4 1.3.1 本体 4 1.3.2 モニター操作スイッチ部 5 1.3.3 キーボード表示部 5 1.3.4 リアパネル部 6			
Chapter 2 - 必ず最初に行ってください			
 2.1. サーバーラックへの設置方法			
Chapter 3 - 操作方法 11			
3.1.本製品の使用方法			
Chapter 4 - 諸元19			
4.1.本製品の仕様			
Chapter 5 - 困ったときは 25			
5.1. トラブルシューティング26 5.2. 製品サポート			

Chapter 1 - ご利用になる前に

本製品のセットアップを行う上で必要な情報を説明しています。 作業を始める前に必ずお読みください。

本章の内容

1.1 製品概要	2ページ
1.2 添付品の確認	3ページ
1.3 各部の名称と働き	4ページ
1.3.1 本体	4ページ
1.3.2 モニター操作スイッチ部	5ページ
1.3.3 キーボード表示部	5ページ
1.3.4 リアパネル部	6ページ

1.1. 製品概要

本製品はモニター、キーボード、マウスが一体となった 1U サイズのコンソール ドロワーです。本製品をお使いになるとサーバーラックの作業空間の効率が大幅に 改善されます。



【特長】

- 奥行の短いショートラックに対応し、省スペース化を実現できます。
- 17 インチ TFT カラー液晶ディスプレイを採用し、解像度 1280x1024、 総表示色 1,677 万色に対応します。
- キーボードおよびマウスの入力ポートは、PS/2 と USB の両方に対応しています。また、お手持ちのマウスを接続できる外付けの USB ポートも装備しています。

1.2. 添付品の確認



梱包箱および梱包品は廃棄せず保管しておくことをおすすめします。

⚠注意

梱包箱から本体を取り出す際、ハンドルを持たないでください。モニター だけが開き本体を落とすおそれがあります。

万一、不備な点がございましたら、恐れ入りますがご購入先あるいは下記ページの FCL コンポーネント株式会社 お客様サービス&サポートセンターへお申し付けください。 □ 参照 5.2 製品サポート(27 ページ)

1.3.各部の名称と働き 1.3.1本体



No.	名称	内容
1	ラッチレバー	本製品をサーバーラックから引き出す際に操作します。
2	モニター操作スイッチ部	モニターの各種操作を行います。 叫参照 3.4 モニター操作メニュー(14 ページ)
3	モニター	17 インチ TFT カラー液晶ディスプレイ □□参照 3.4 モニター操作メニュー(14 ページ)
4	キーボード	テンキー付き 108 キーJIS 配列のキーボードです。 💷参照 3.2 キーボード配列(13 ページ)
5	タッチパッド	静電容量式タッチパッド □□参照 3.3 タッチパッドからの操作(13 ページ)
6	キーボード表示部	キーボード表示の他、RESET スイッチ, Hot-Key スイッチが あります。 🖽参照 1.3.3 キーボード表示部(5 ページ)
7	外付けマウス用 USB ポート	お手持ちのマウスを使用される際は、本ポートに接続してご使 用ください。マウス以外の使用はできません。 回参照 4.4 マウス(24 ページ) セキュリティのため、本ポートを隠したい場合は、添付の USB マスクシートを貼り付けてください。
8	LCD ロック	モニターを起こす際に操作します。
9	ハンドル	サーバーラックから引き出す際やモニターを起こす際に操作します。

1.3.2 モニター操作スイッチ部



No.	名称	内容		
1	AUTO/EXIT スイッチ	メニュー画面の消去、調節項目の取り消し、設定値の取り消し、 自動調節する場合に押下します。		
2	◀ – スイッチ	左方を選択するときや値を減らす方向に変化させる場合に押下 します。		
3	▶+スイッチ	右方を選択するときや値を増やす方向に変化させる場合に押下 します。		
4	MENU/ENTER スイッチ	メニュー画面の表示、調整項目の決定等を行う場合に押下しま す。		
		青点灯	電源 ON 状態を示します。	
5	電源 LED	橙点灯	スタンバイ状態を示します。	
		消灯	電源 OFF 状態を示します。	
6	モニター電源スイッチ	モニターの電源を入/切します。		

1.3.3 キーボード表示部



No.	名称	内容
1	NUM LOCK LED	Num Lock の状態を示します。
2	CAPS LOCK LED	Caps Lock の状態を示します。
3	SCROLL LOCK LED	Scroll Lock の状態を示します。
4	RESET スイッチ	ハードウェアのリセットを行います。動作異常が発生した場合 などに先の細いピン等で押下してください。
5	HOT-KEY スイッチ	KVM スイッチを接続している場合、本スイッチを押下すると サーバー/PC を切替えるための OSD を表示します。 KVM スイッチを接続していない場合は、本スイッチを押下して も動作しません。

1.3.4 リアパネル部



No.	名称	内容
1	インレット	添付の AC100V 用電源ケーブルを接続します。
2	PS/2 接続ポート	添付の PS/2(KB)接続ケーブル および PS/2(MS)接続 ケーブルを接続します。
3	USB 接続ポート	添付の USB 接続ケーブルを接続します。
4	モニターポート	添付のモニター接続ケーブルを接続します。



Chapter 2 - 必ず最初に行ってください

本製品のご使用にあたり必ず最初に実施しなければならない操作手順について説明しています。

本章の内容

2.1 サーバーラックへの設置方法	8ページ
2.2 ケーブルの接続	9ページ
2.3 ケーブルの抜け防止対策	10 ページ
2.3.1 AC100V 用電源ケーブルの抜け防止	10 ページ
2.3.2 PS/2、USB 接続ケーブルの抜け防止	10 ページ

2.1. サーバーラックへの設置方法

⚠注意

本製品をサーバーラックへ設置する際は必ずサーバーラックを固定してく ださい。サーバーラックが倒れる恐れがあります。

本製品とガイドレールの間に指や手を挟まないように注意してください。

本ラッチレバーが解除されないように注意してください。 意図せず本製品がスライドする恐れがあります。

⚠注意

本製品が重く、サーバーラックに設置しづらい場合は、2人以上で作業してください。本製品を持ち上げるときはハンドルを持たないでください。 意図せずモニターが開き、製品を落とす恐れがあります。

🖢 重要

本ガイドレールの取り付けについては、ガイドレールの取扱説明書を ご参照ください。ガイドレールはオプションでご用意しております。 □◎参照 4.5 オプション品(24 ページ)



(1) ガイドレール前方から本製品を止まるまで押し込みます。

(2)前面2箇所を取り付けネジで固定します。

取り付けネジはガイドレールに添付のものを使用してください。



- (1)影響を受ける機器すべての電源プラグをアース付き電源コンセントから抜きます。
- (2) サーバー/PC のアース付き電源ケーブルをアース付き電源コンセントへ接続します。
- (3) 添付の PS/2(KB) 接続ケーブル、PS/2(MS) 接続ケーブルあるいは USB 接続 ケーブルにて本製品とサーバー/PC を接続します。PS/2 接続ケーブルと USB 接続ケーブルの両方を接続する必要はありません。 お手持ちのマウスをご使用の場合、前面右側の外付けマウス用 USB ポートに マウスを接続してください。□□参照 4.4 マウス(24 ページ)
- (4) モニター接続ケーブルにて本製品とサーバー/PC を接続します。
- (5) 添付の AC100V 用電源ケーブルを本製品およびアース付き電源コンセントに 接続します。
- (6) サーバー/PC の電源を入れます。
- 注1) ケーブルは極端に曲げて(小さな曲げ R で)使用しないでください。 断線の原因になります。
- 注2) ケーブルは必ず添付の抜け防止バンドで固定してください。
- 注3) ケーブルを取り外す際は、影響を受けるすべての機器の電源プラグを アース付き電源コンセントから抜いて各ケーブルを取り外してください。

2.3.ケーブルの抜け防止対策 2.3.1 AC100V 用電源ケーブルの抜け防止



- (1) AC100V 用電源ケーブルをリアパネルのインレットに差し込みます。
- (2) ケーブル抜け防止バンドをリアパネルのバンド取り付け穴に差し込みます。
- (3) 図のようにケーブル抜け防止バンドを取り付けて締めます。 AC100V 用電源ケーブルを取り外す際は、ケーブル抜け防止バンドのフックを つまみ、ロックを解除して引き抜いてください。
- 2.3.2 PS/2、USB 接続ケーブルの抜け防止



- (1) PS/2(KB)接続ケーブル、PS/2(MS)接続ケーブル あるいは USB 接続 ケーブルをリアパネルのコネクターに差し込みます。
- (2) ケーブル抜け防止バンドをリアパネルのバンド取り付け穴に差し込みます。
- (3) 図のようにケーブル抜け防止バンドを取り付けて締めます。

Chapter 3 - 操作方法

本製品の操作方法などについて説明しています。

本章の内容

3.1	本製品の使用方法	12ページ
3.2	キーボード配列	13ページ
3.3	タッチパッドからの操作	13ページ
3.4	モニター操作メニュー	14 ページ
3.5	画面位置の調整	15ページ
3.6	本製品の収納方法	17 ページ
3.7	本製品のお手入れ	18 ページ

3.1.本製品の使用方法



- (1)本製品前面左の耐震ゴムを引き抜いてください。耐震ゴムは本製品の取り付け時 や移動中に本製品がスライドしないように差し込んであります。 耐震ゴムは後に必要になることがありますので、必ず保管してください。
- (2)前面左側のラッチレバーを押し下げ、ハンドルを持って本製品をカチッと音が するまで引き出します。
- (3) LCD ロックを持ち上げた状態で、ハンドルを持ちモニターを開きます。
- (4) モニター電源スイッチを押下して、モニターの電源を入れます。 以上でモニターに画面が表示され、キーボードおよびマウスによる操作が可能に なります。

⚠注意

サーバーラックから引き出す前に本製品が取り付けネジでサーバーラック に固定されていることを確認してください。サーバーラックから引き出す 際はスライドレールがロックされるまでゆっくり引き出してください。

<u>∕∖注</u>意

本製品をサーバーラックから引き出し、モニターを開いた状態で強い力を 加えるとサーバーラックが転倒する恐れがありますのでご注意ください。

3.2. キーボード配列

本製品のキーボードは以下のようなテンキー付き 108 キーJIS 配列です。

Esc F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 Sortik Passes Press Desite Enclara	Home	PgUp	PgDn
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	Num Lock		_]
		9 PgUp	+
	[4 ,] [5 	6	
	1 End ↓	3 PgDn	Enter
		Del	

ファンクションキーとの組み合わせによりフルキーボードと同等の操作が可能です。

3.3. タッチパッドからの操作

本製品のタッチパッドからの操作について説明します。

- ポインタの移動 :操作面上を動かしたい方向に指で軽く滑らせる。
- シングルクリック:操作面を軽く1度叩くまたは左ボタンを1度クリックする。
- ダブルクリック :操作面を軽く2度叩くまたは左ボタンを2度クリックする。



》重要

本タッチパッドは静電容量式タッチパネルです。以下のような場合は動作 しません。

- 1) 2本以上の指や手袋をした指での操作
- 2) ペン、ボールペン、鉛筆などの操作
- 3) 異物を操作面に載せた状態での操作 操作面に水滴が付着した場合、正常に操作できない場合があります。
 十分乾燥させるか拭き取ってから使用してください。故障の原因と なりますのでペンなどの先のとがった金属で操作しないでください。

3.4. モニター操作メニュー

OSD 表示のモニター操作メニューにて各種設定を行うことができます。



- (1) モニター操作スイッチ部の MENU/ENTER スイッチを押下しモニター操作 メニュー画面(OSD)を表示します。
- (2) ▶+スイッチ または ◀-スイッチを押下し、設定したい項目を選びます。
- (3) MENU/ENTER スイッチを押下すると各設定画面を表示します。
- 注1) 各設定にて、設定変更をした際は、必ず MENU/ENTER スイッチを押下し、設定 を保存してください。変更をキャンセルする場合は、AUTO/EXIT スイッチを 押下してください。
- 注2) 各メニュー画面にて 10 秒間操作しないと自動保存して OSD が閉じます。
- 注3) メニュー画面を表示させずに、 ▶+スイッチ または ◀-スイッチを押下すると 画面の明るさ (BRIGHTNESS) を直接調整することができます。この場合は、 設定値を変更する毎に保存されます。

No.	項目	説明	初期値
(ア)	BRIGHTNESS	画面全体の明るさを調整します。	100
(イ)	CONTRAST	画面全体のコントラストを調整します。	0
(ウ)	COLOR	COLOR 画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤/緑/青の色合いを個別に設定できます。	
(エ)	H POSITION	表示位置を左右に調整します。	0
(オ)	V POSITION	表示位置を上下に調整します。	0
(力)	CLOCK	帯状(縦)のノイズが発生する場合に調整します。	0
(+)	FOCUS	文字のにじみや水平方向のノイズを調整します。	0
(ク)	sRGB	sRGB の ON/OFF の切り替えができます。	OFF
(ケ)	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		PC
(□)	BLACK LEVEL	黒色のオフセット基準を任意に設定できます。	0
(サ)	TEXT MODE	DOS 画面の解像度を設定できます。 英語 DOS 時は、720×400 を選択してください。	640×400
(シ)	LANGUAGE	表示する言語を設定します。	ENGLISH
(ス)	INFORMATION	現在の解像度、設定値等を表示します。	-
(セ)	RECALL	READJUSTING:各項目を初期値に戻します。 GEOMETRY:POSITION, CLOCK, FOCUS を初期値 に戻します。 COLOR:BRIGHTNESS,CONTRAST,BLACK LEVEL, COLOR を初期値に戻します。	-

sRGB が ON の場合、CONTRAST、COLOR、BLACK LEVEL、PICTURE MODE の設定はできません。

3.5. 画面位置の調整

画面の位置ずれを自動で調整する機能です。

- (1) モニターの画面をできるだけ白色の画面表示にします。
- (2) モニター操作スイッチ部の AUTO/EXIT スイッチを押下すると自動調整が 開始されます。

モニター操作スイッチ部



画面調整中は画面右下に以下のように AUTO ADJUSTMENT が表示されます。

AUTO ADJUSTMENT

(3) 以下の画面が表示されれば自動調整終了です。再度 AUTO/EXIT スイッチを押下 して終了して下さい。

> AUTO ADJUSTMENT COMPLETE

自動調整を行っても画面の位置ずれがある場合は、モニター操作メニューの H POSITION、V POSITION にて位置調整を行ってください。 例として、H POSITION の位置調整方法を以下に示します。

(1) モニター操作スイッチ部の MENU/ENTER スイッチを押下しモニター操作 メニュー画面(OSD)を表示します。



(2) メニュー画面で▶+スイッチまたは◀-スイッチを押下し、H POSITION の 調整画面を選択します。



(3) MENU/ENTER スイッチを押下すると、H POSITION のサブメニュー画面が 表示されます。



- (4) サブメニュー画面で▶+スイッチまたは◀-スイッチを押下により、水平位置が 調整されます。
- (5) MENU/ENTER スイッチを押下すると調整した値が保存され、メニュー画面に 戻ります。

☆	0	••		₫		0
	H		DSI	ГЮ	N	
s RGB	囗	BLK		€	1	h

(6) AUTO/EXIT スイッチを押下するとメニュー画面を終了します。

以上で H POSITION の位置調整は完了です。



- (1) モニター電源スイッチを押下してモニターの電源をオフにします。モニターを 閉じると自動的に電源が切れます。
- (2) モニターを LCD ロックが掛かかるまでしっかり閉めます。
- (3) スライドレール両側のロックを押下した状態でゆっくりと本体をサーバーラック に押し込み、ラッチレバーが掛かったことを確認します。

<u> </u> <u> 八</u> 注意

スライドレールのロックを操作する際は、指や手を挟まないように注意してください。本製品の出し入れはゆっくりとおこなってください。

⚠注意

ラッチレバーが掛かるまで確実に押し込んでください。サーバーラックを動かしたときに、意図せずに本体が出てくる場合があります。

h重要

モニターをご使用にならないときは、省電力のためモニターの電源を切る かサーバーラックに格納することを推奨します。本製品をサーバーラック に格納すると自動的にモニターの電源が切れます。

3.7.本製品のお手入れ

本製品のお手入れの際には、本体とモニターの筐体を乾いた布で拭いてください。 汚れがひどいときには、水に浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。 ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

キーボードとタッチパッドを清掃するには、殺菌した布を使用してください。

モニター画面は、ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

⚠注意

モニターの電源を切り、インレットから AC100V 用電源ケーブルを抜いて ください。研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、 消毒用アルコールは使用しないでください。 水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。 液が内部に入ると誤動作や破損の原因になります。

Chapter 4 - 諸元

本製品の仕様や動作条件などについて説明しています。

本章の内容

4.1	本製品の仕様	20 ページ
4.2	環境条件	21ページ
4.3	モニター解像度	22 ページ
4.4	マウス	24 ページ
4.5	オプション品	24 ページ

4.1.本製品の仕様

項目		仕様		
名称		17 インチベーシックドロワー		
型格		FD-1700AT/J		
筐体色		黒		
必要ラック	クユニット数	10		
KVMスイッ	ッチ搭載の有無	無し		
	液晶パネル	17 インチ TFT カラー液晶		
	解像度	最大 1,280x1,024		
	リフレッシュレート	最大 75Hz		
	表示色	最大 1,677 万色 (ディザリング)		
エーク	輝度	185cd/m ² (typ)		
モニター	コントラスト	600 : 1(typ)		
	勿 用又 在	水平方向 左右 170°(typ.)(CR≧10)		
	倪野用	垂直方向 上下 160°(typ.)(CR≧10)		
	LCD 表面処理	アンチグレア処理		
	プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B 準拠		
キーボード	キー数	日本語配列、108 キー(JP)		
		X=160cosθ±16counts		
	甘土八砌化	$Y=240sin\theta\pm 24counts$		
	基本刀件能	操作距離 10mm		
タッチパッド		操作速度 280mm/sec		
	方式	静電容量方式		
	タップ機能	有り(シングルクリック、ダブルクリック、ドラッグ)		
	スイッチ数	3		
		キーボード/マウス(タッチパッド)		
		・PS/2(OADG 準拠)		
	インターフェース	・USB(Full スピード HID コンポジット)		
#_バ_/PC との		モニター		
9-パー/アピとの 培結仕様		• VGA		
1女初近1工138		キーボード用 PS/2(ミニ DIN 6 ピン,メス,紫) ×1		
	接続ポート	マウス用 PS/2(ミニ DIN 6 ピン,メス,緑) ×1		
		キーボード/マウス用 USB Type B メス ×1		
		モニター(アナログ) : Mini D-SUB 15P メス ×1		
外部USE	3ポート仕様	USB マウスのみ接続可能		
		供給可能電流:250mA		
	引出しカ	24.5N(max) 行程を平均 1.5 秒で操作した場合		
スライドレール	押込み力	24.5N(max) 行程を平均 1.5 秒で操作した場合		
	引出し/押込み回数	2,000 回		
	定格	AC100V/0.65A 50/60Hz		
		最大 30W 以下 (発熱量 108kJ/h)		
消]	賈電力	省電力時 3W 以下		
	-/	電源スイッチ OFF 時 3W 以下		
外	形寸法	次ページの外形寸法を参照ください		
<u>1</u>	質量	約 12.0 kg		
115	 志規格	VCCI ClassA		
דוקהנסענע		RoHS 指令		

本製品のご利用にあたっては、全てのサーバー/PCとの接続を保証するものではありません。

外形寸法

・収納時



4.2.環境条件

項目	規格		
使用温度/湿度			
保存温度/湿度	-20~60℃/8~80%RH(結露なきこと)		
最大湿球温度	動作時 29℃以下 非動作時 46℃以下 輸送時及び保管時 46℃以下 温度勾配 ℃/時:15 以下(結露なきこと) 湿度勾配 %/日:30 以下(結露なきこと)		

4.3. モニター解像度

本製品のサポート解像度とリフレッシュレートを以下に示します。

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	モード
640 x 400	31.5	70	VGA 400 LINE
	31.5	60	VGA Standard
640 x 480	37.5	75	VESA
	37.9	72	
720 x 400	31.5	70	
	35.2	56	
800 × 600	37.9	60	
800 X 600	46.9	75	
	48.1	72	
	48.4	60	
1,024 x 768	56.5	70	
	60.0	75	
1 290 x 1 024	64.0	60	
1,200 X 1,024	80.0	75	
1 152 × 000	61.9	66	Oracle (SUN)
1,152 X 900	71.8	76	コンポジット
1,280 x 1,024	71.4	67	

》重要

電源投入直後や OS 起動時または終了時に画面の位置ずれ、点滅、乱れ等 が発生する場合がありますが、故障ではありませんのでそのままご使用く ださい。

🖢 重要

1,280×1,024(推奨解像度)以外の解像度では、文字の輪郭がはっきり 見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあ ります。これは、擬似的に拡大表示(フルスクリーン表示)しているためで あり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。

會重要

画面上の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合が ありますが LCD の特性であり、故障ではありませんのでそのままご使用 ください。 OS に Linux をご使用の場合については、以下の事項をよくお読みになり、正しい 設定でご使用ください。

🖢 重要

X Window System の設定については以下の解像度、リフレッシュレート、表示色で使用することを推奨します。 推奨値以外の設定では、画面が乱れたり、表示できなかったりする場合があります。

		推奨値			
ディストリビューション	解像度	リフレッシュ レート(Hz)	表示色		
Turbolinux Server 日本語版 6.1	1,024×768	70	65,536		
Turbolinux Server 6.5	1,024×768	70	65,536		
Turbolinux 7 Server	1,024×768	75	-		
Turbolinux 8 Server	1,024×768	75	-		
RED HAT LINUX 7J PROFESSIONAL SERVER	1,024×768	70	65,536		
Red Hat Linux 7.2 Professional	1,024×768	75	-		
Red Hat Linux 7.3	1,024×768	75	-		
Red Hat Linux 8.0	1,024×768	75	_		
Red Hat Linux 9	1,024×768	75	-		
Red Hat Enterprise Linux AS (v. 2.1)	1,024×768	75	_		
Red Hat Enterprise Linux ES (v. 2.1)	1,024×768	70	-		
Red Hat Enterprise Linux AS (v. 3)	1,024×768	75	-		
Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)	1,024×768	75	_		

なお、本製品を Linux でご使用になる場合には、必ず Linux バンドルモデル本体に添付しているリリースノートをよくお読みの上、ご使用ください。

4.4.マウス

外付けで使用するマウスは下記の仕様のマウスをご使用ください。

● USB マウス、カーソル、5 ボタンマウス、スクロール機能に対応

下記のマウスは使用できません。

● PS/2 マウス、チルト、特殊キー、電池残量等のデータを送信



4.5.オプション品

下記のガイドレールをオプション品でご用意しています。

型格	サーバーラック 取り付け穴	備考
FP-G001 (NC14003-T591-R)	M6 タップ有り	M6 ネジ添付 前後からの取り付け 43mm(W)×600~865mm(D) ^{※1} ×44mm
FP-G003 (NC14003-T595-R)	長穴タップなし	M5、M6 ネジ添付 サイドからの取り付け 43mm(W)×440~750mm(D) ^{※1} ×44mm
FP-G002 (NC14003-T596-R)	長穴タップなし	M5、M6 ネジ添付 前後からの取り付け 43mm(W)×600~900mm(D) ^{※1} ×44mm

※1:無段階で調節可能

Chapter 5 - 困ったときは

本製品をご使用の際に何らかのトラブルが発生した場合の解決方法について説明しています。

本章の内容

5.1 トラブルシューティング	26 ページ	
5.2 製品サポート	27 ページ	

5.1. トラブルシューティング

その際には迅速にトラブルを解決できるように、接続構成や故障内容などできるだけ 具体的な現象について、ご説明いただけますようご協力をお願い致します。

こんなときは	ここを確認してください	このようにしてください
キーボードの動作がおかしい、 動作しない。	PS/2 のキーボードとマウスの接続が逆 になっていませんか?	正しく接続してください。
	(KVM スイッチ使用時) OSD モード(OSD が表示されている状態)ではありませんか?	<enter>キーもしくは<esc>キーを押し て OSD モードを解除してください。</esc></enter>
	キーボードが認識していますか?	RESET スイッチを押してください。 サーバー/PC を再起動してください。
外付けマウスの動作がおかし い、動作しない。	サポートされていないマウスを使用して いませんか?	サポートされているマウスに交換してくだ さい。 □参照 4.4 マウス(24 ページ)
	マウフが認識していますか?	RESET スイッチを押してください。
		サーバー/PC を再起動してください。
画面が映らない。 画面に下記が表示される。 OUT OF RANGEH~ NO SYNC SIGNAL~ UNSUPPORTED MODE~	サーバー/PC は動作していますか? サーバー/PC は省電力モードに入ってい ませんか?	サーバー/PC を起動もしくは再起動してく ださい。 キーボード、マウスを動かしてサーバー/PC の省電力モードから抜けてください。
	解像度、リフレッシュレートの設定は適 切ですか?	仕様内の解像度、リフレッシュレートに設 定してください。 □参照 4.3 モニター解像度(22 ページ)
	サーバー/PC の電源が入った状態で、本 製品の電源を入れ直しませんでしたか?	本製品の電源を入れた状態でサーバー/PC を再起動してください。
画面の表示位置がずれてい る。	位置調整は行いましたか?	位置調整を行ってください。 □◎参照 3.5 画面位置の調整(15 ページ)
画質が劣化している。 ・ゴースト ・格子状のちらつき ・文字の二ジミ ・縞模様	画質調整は行いましたか? 添付以外のモ ^ー ター接続ケーブルを使用	 下記の画質調整にて改善される場合があります。 ・FOCUS ・CLCOK ・BLACK LEVEL 山参照 3.4 モニター操作メニュー(14 ページ) 添付のモニター接続ケーブルを使用してく
	していませんか?	

5.2. 製品サポート

本書をご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。 お問い合わせの前に、製品本体ラベルに記載されている、型格(MODEL)、製造番号 (SER. No.)、製造年月(DATE)のご確認をお願いします。

お問い合わせ先

FCL コンポーネント株式会社 お客様サービス&サポートセンター			
Web フォーム	https://www. fcl-components.com/contact/		
連絡先	電話 : 0120-810-225 (通話料無料) 携帯電話からもご利用いただけます。		
	受付時間 : 9:00~12:00, 13:00~17:00 (土曜、日曜、祝祭日、弊社休業日を除く)		

MEMO

MEMO

MEMO

FCL Components SERVIS KVM solution 17 インチ 1U ベーシックドロワー FD-1700AT/J オペレーティングマニュアル

2024年2月第6版発行

FCL コンポーネント株式会社

〒140-8586 東京都品川区東品川 4-12-4 品川シーサイドパークタワー

- 本書の記載内容は予告無しに変更する事があります。
- 本書に記載された情報、図面の仕様に起因する第三者の知的財産権、その他権 利侵害については、当社はその責を負いません。
- 本書に記載された製品を使用した貴社製品が、外国為替及び外国貿易法ならび に米国輸出管理規制(EAR)などの法令に基づき規制されている貨物又は技術に 該当する場合に、該当製品を輸出するに際しては同法に基づく許可が必要にな ります。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁のあるものはお取り替え致します。



NC14010-L513AA-06